

セルティー 使用者による保守点検リスト

治療器を正常かつ安全に使用し、効能や効果を十分に維持するために下記の保守点検をしてください。
異状がみられる場合は、ご使用を中止し、必ず電源コードのプラグを抜いてから、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

	点検項目	点検内容	備考
日常点検	電源コード	電源コードに裂傷、断線がないこと	左記症状がある場合は、販売店にご連絡ください。
		コンセントと電源コードプラグ間にホコリがないこと	電源コードのプラグを抜いてからホコリを取り除いてください。
	導子極板G 対極板G	極板に濡れや湿りがなく、乾燥していること	治療終了後はベルトを外し、導子極板G・対極板Gを離れた状態で自然乾燥させてください。
		極板ケーブルや極板(装着部)に破損、裂傷、断線、変形がないこと	左記症状がある場合は、販売店にご連絡ください。
		治療中、極板からビリビリとした電氣的刺激がないこと	
	カバー、ベルト、手袋	清潔に保たれていること	汗等の成分が付着しますので、こまめに洗濯してください。
エネルギーチェックによる点検	📖 22、23ページ参照	エネルギーチェック表示部に「OK」が表示されない場合は、販売店にご連絡ください。	
1年点検	導子極板G 対極板G	1年毎に交換されていること	導子極板G・対極板Gは消耗品です。 効能や効果を十分に維持するためにまた本体の安定稼働を維持するために1年毎に交換してください。

保証書について

保証書(3枚目)はおお客様の控えです。取扱説明書と同様に大切に保管してください。

お客様の個人情報の利用目的

お客様にご記入頂いた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

保証書と同じ内容を下記に記入しておく点検、修理、消耗品の注文などを依頼されるときに便利です。

製造番号	お買い求め日	お買い求めの販売店
F01CA()	年 月 日	TEL() -

修理・お手入れ・お取り扱いなどのご相談はまずお買い求めの販売店へお申し付けください。
または商品名、製造番号をご確認の上、下記へご連絡ください。

お問い合わせ内容	連絡先
使用方法等について	TEL: 0877-45-5333(代) FAX: 0877-45-1881
故障等について	TEL: 0877-45-3200 FAX: 0877-45-3600

- 受付時間：午前9：00～午後6：00 月曜～金曜まで(土日祝日及び弊社休日指定日を除く)

製造販売元・製造元

レルテック医療器株式会社

〒762-0025 香川県坂出市川津町3795番地1
TEL(0877)45-5333(代) FAX(0877)45-1881

<http://www.reltec.co.jp>

F01C-15.03

reltec

取扱説明書

家庭用電位治療器

セルティー ET-F01

医療機器認証番号 217AGBZX00011000



- このたびは、セルティーをお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。
- ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき正しくお使いください。
- いつでもご覧いただけるように大切に保管してください。

目次

1. 正しくご使用いただくために ……2ページ	1
2. 効能及び効果……4ページ	2
3. 構成……4ページ	3
4. 本体各部の名称と機能 ……5ページ	4
5. 組立・設置方法……6ページ	5
6. 導子極板G・対極板Gについ ての注意事項……10ページ	6
7. 治療方法 ……11ページ	7
8. 極板のあて方例 ……12ページ	8
9. 操作方法……14ページ	9
10. 使用後の注意事項 ……20ページ	10
11. お手入れと保管 ……20ページ	11
12. エネルギーチェック (ENERGY CHECK) ……22ページ	12
13. トラブル対処方法 ……24ページ	13
14. 仕様……26ページ	14
15. その他……27ページ	15

1. 正しくご使用いただくために


このたびは、セルティーをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。


セルティーは、頭痛、肩こり、不眠症、慢性便秘を緩解する家庭用電位治療器です。

尚、日本国内仕様のため、安全上及び法律により、海外ではご使用出来ません。


ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みいただき、正しくご使用ください。


- 下記の表示が付いている文書は、この表示を無視して誤った取扱をすると、ご使用者や他の人への危害及び物的損害が想定される内容を説明しています。

 **警告** この表示を無視して誤った取扱をすると「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。

 **注意** この表示を無視して誤った取扱をすると「人が傷害を負う可能性または物的損害が想定される」内容を示しています。

- 下記の絵表示が付いている文書は、禁止事項や指示事項の内容を説明しています。

 **禁止** この絵表示が付いている文書は、してはいけない「禁止事項」の内容を示しています。

 **強制** この絵表示が付いている文書は、必ずしなければならない「指示事項」の内容を示しています。

使用する前に次の事項にご注意ください。

警告

1. 心臓病と診断され、日常の過激な運動を制限されている人は使用しないでください。
2. 次のような医用電子機器及び人工臓器は、誤作動を招くおそれがあるので併用しないでください。
 - ① ペースメーカー等の体内植込型医用電子機器
 - ② 人工心肺等の生命維持用医用電子機器
 - ③ 心電計等の装着型医用電子機器
 - ④ 人工中耳や人工内耳、金属製の人工心臓弁、金軸性止血クリップ等
3. 乳幼児、子供、自分で意思表示できない方に、おひとりでの使用をさせないでください。
4. 子供に機械本体及び導子極板G・対極板Gの上で遊ばせないでください。またそれらの上に乗らせないでください。
5. 他の治療器と同時に使用しないでください。
6. 一人用の家庭用電位治療器のため、複数の人が同時に使用しないでください。
7. 導子極板G・対極板Gは頭部または皮膚疾患部には接触させないでください。

注意

1. 身体に異常を感じたときには使用を直ちに中止し、医師に相談してください。
2. 極板が濡れているときには、使用しないでください。
3. 周囲の人は、治療中の人に触れないでください。
4. 次の人は使用前に医師に相談してください。
 - ① 悪性腫瘍のある人
 - ② 心臓に障害のある人
 - ③ 妊娠初期の不安定期又は出産直後の人
 - ④ 体温38℃以上(有熱期)の人(急性炎症症状(倦怠感、悪寒、血圧変動など)の強い時期にある人、衰弱している人)
 - ⑤ 安静を必要とする人
 - ⑥ 脊椎の骨折、捻挫、肉離れなど急性(疼痛性)疾患の人
 - ⑦ 糖尿病などによる高度な末梢循環障害による知覚障害のある人
 - ⑧ その他重篤な人
5. 次のような症状を起こした場合には直ちに、使用を中止し、医師に相談してください。付属品のベルトは天然ゴムを使用しています。天然ゴムはかゆみ、発赤、じん麻疹、むくみ、発熱、呼吸困難、喘息様症状、血圧低下、ショックなどのアレルギー性症状をまれに起こすことがあります。
6. 使用しても効果が現れない場合は、医師に相談してください。

注意



分解禁止

- 本体の内部は、高電圧が発生しています。絶対にケースをアケないでください。
- 本体及び付属品の分解・修理・改造をしないでください。
- 本体及び付属品を他の用途に使用しないでください。感電などのけがや故障のおそれがあります。



火気禁止

- たばこなどの火気を近づけないでください。
- 本体や付属品を暖房器具に近づけないでください。火災や故障のおそれがあります。



- 風呂場など、水分や湿気の多い場所では使用しないでください。感電などのけがや故障のおそれがあります。
- 本器及び付属品(エナジーチェック、極板)を水につけて洗わないでください。液体が内部に入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いて使用しないでください。



電源プラグをコンセントから抜く

- 異常な臭い・異常な音・煙が発生する等機器の異常に気づいたときは電源スイッチを切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いて使用しないでください。
- 製品を落としたり、倒したり、強い衝撃が与えられたときは、すぐに電源スイッチを切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いて使用しないでください。
- ※ 上記の場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- 雷が発生しているときは、使用を中止し、電源コードのプラグを持ってコンセントから抜いてください。
- 停電のときは、直ちに電源スイッチを切ってください。



禁止

- 電源コードは、束ねないでください。
- 電源コードの上に家具などの重いものをのせないでください。
- 電源コードを引っ張ったり、ねじったりしないでください。

2. 効能及び効果 以下の症状を緩解します。



頭痛



肩こり

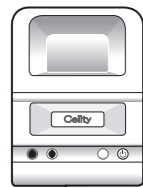


不眠症



慢性便秘

3. 構成 ※下記の内容をご確認いただき、チェック☑をお付けください。



本体
(1台)



保証書
(1部)



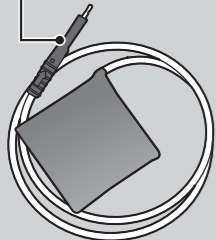
取扱説明書
(1部)



添付文書
(1部)

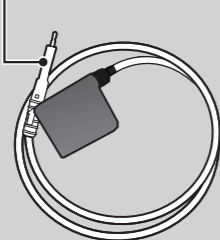
付属品

プラグ(グレー)



導子極板G×1本

プラグ(白)



対極板G×1本



導子極板G用カバー小(2枚)

対極板G用カバー特小(2枚)

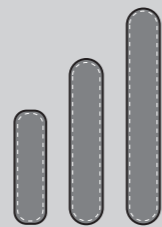


5本指手袋(1組)

ミトン手袋(1組)

※導子極板G・対極板Gは 1年毎の交換が必要です。

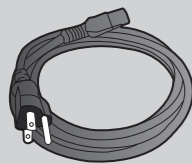
効能や効果を十分に維持する為に、
1年毎に交換してください。



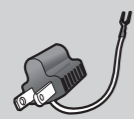
ベルト [大………1本(長さ:120cm)
中………1本(長さ: 80cm)
特小W…1本(長さ: 30cm)]



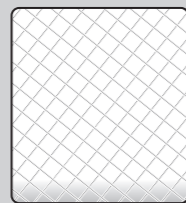
スパイラルチューブ×2本
(極板に装着済み)



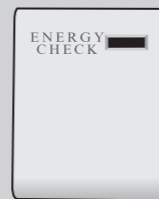
電源コード(1本)



接地アダプタ
(1個)

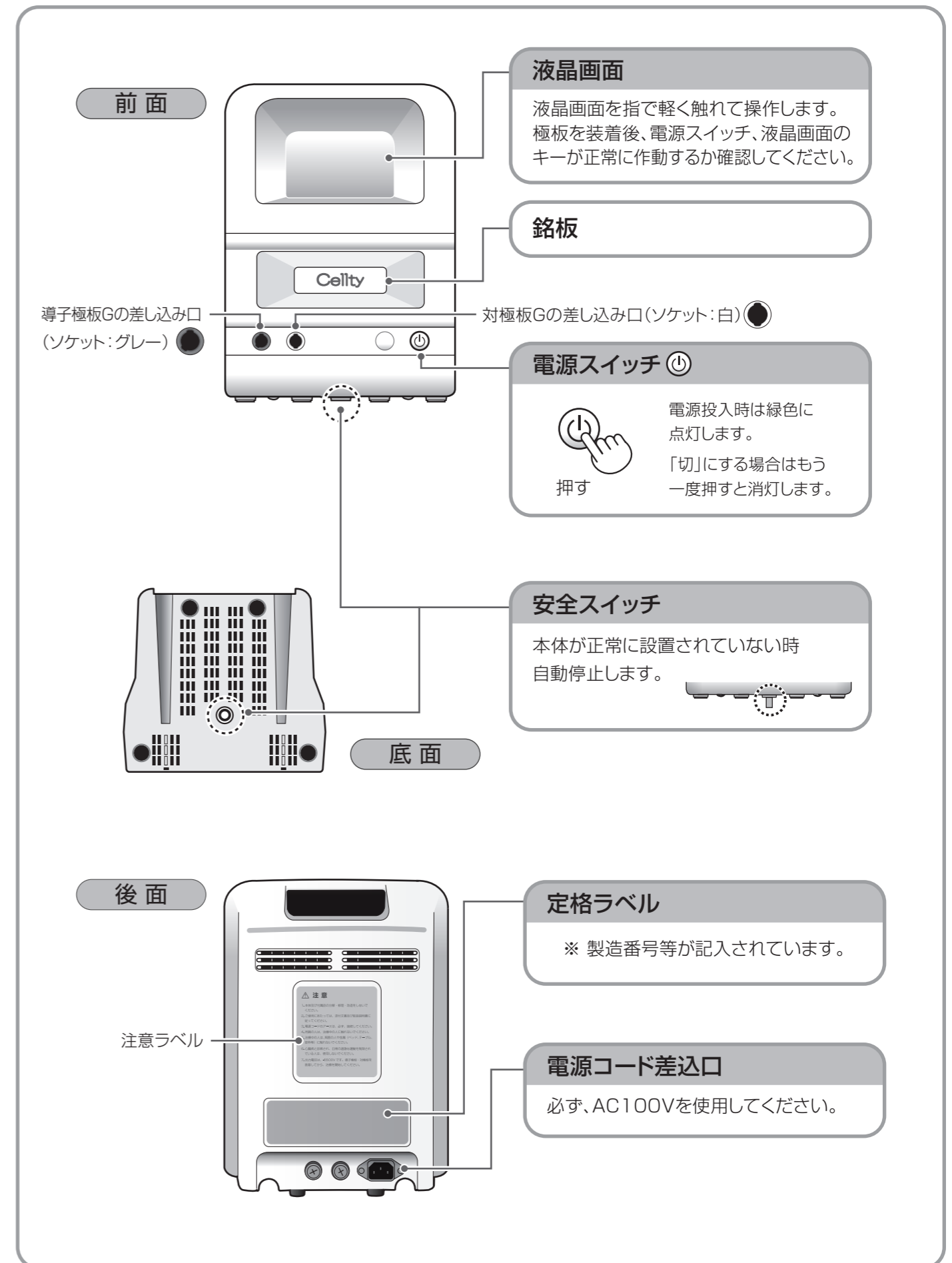


絶縁マット(1枚)



エナジーチェック
(1個)

4. 本体各部の名称と機能



2
3
4
効能及び効果／構成／本体各部の名称と機能

5. 組立・設置方法

1. 導子極板G・対極板Gの接続

導子極板G

プラグ(グレー)

対極板G

プラグ(白)

導子極板Gプラグ(グレー)の↑(矢印)を上にして本体ソケット(グレー)にまっすぐ奥まで挿入し右に90°度回します。

対極板Gプラグ(白)の↑(矢印)を上にして本体ソケット(白)にまっすぐ奥まで挿入し右に90°度回します。

注意

必ず90°度回してください。
90度回さないと固定されずプラグが抜ける恐れがあります。

(対極板Gは↑(矢印)を下にしても挿入可能です。)

導子極板G・対極板Gを取り外す場合

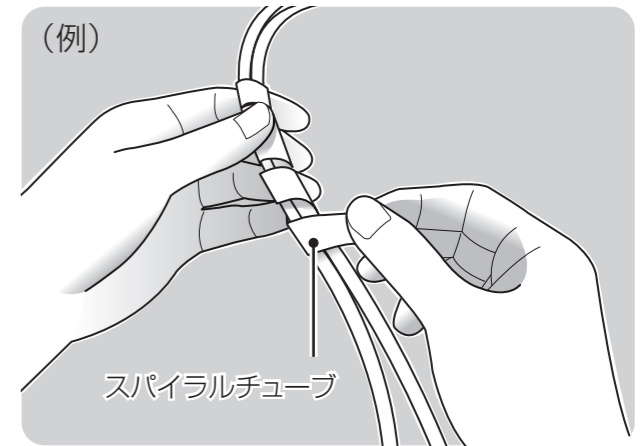
導子極板Gプラグ(グレー)を左に90°度回し、まっすぐ引き抜きます。

対極板Gプラグ(白)を左に90°度回し、まっすぐ引き抜きます。

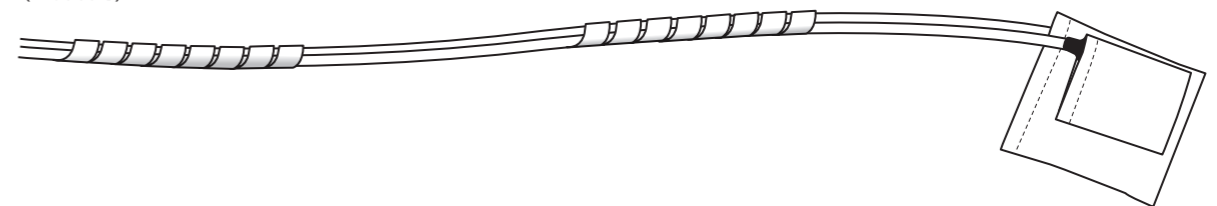
● スパイラルチューブの巻き方例

導子極板Gと対極板Gのケーブル同士をところどころ、付属のスパイラルチューブで巻いて束ねてください。

※ 製品出荷時に同梱されている導子極板G 対極板Gには、予めスパイラルチューブが装着されています。

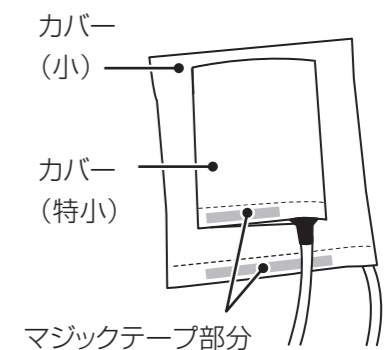


(装着例)



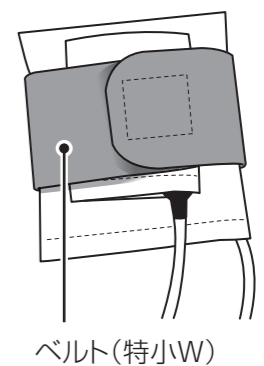
● 極板カバーの取付け方

付属の極板カバーを極板本体に取り付けてください。袋形状カバーの一边のマジックテープを開放して極板本体を挿入し、再びマジックテープを閉じます。



● ベルトの使い方

極板を身体に装着するための付属のベルトを用意してください。長さの異なる大・中・特小Wのベルトがあり、身体に装着しやすいように伸縮性と固定のためのマジックテープが備わっています。

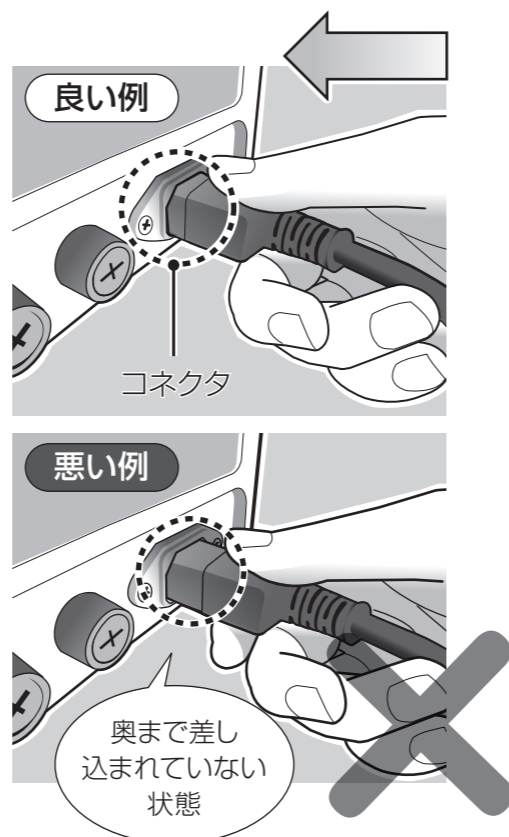


5. 組立・設置方法

2. 電源コードの接続

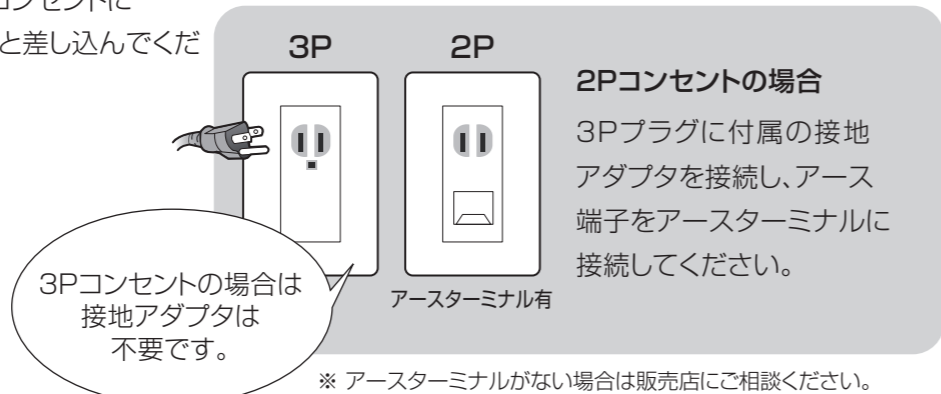
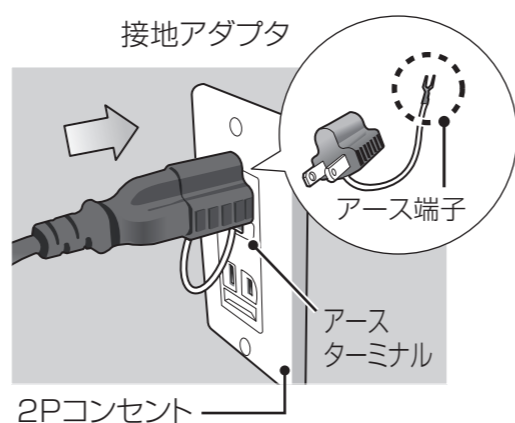
1 電源コードのコネクタを差し込んでください。

本体後ろの差込口(AC100V IN)に付属の電源コードのコネクタを持ってまっすぐ奥までしっかりと差し込んでください。



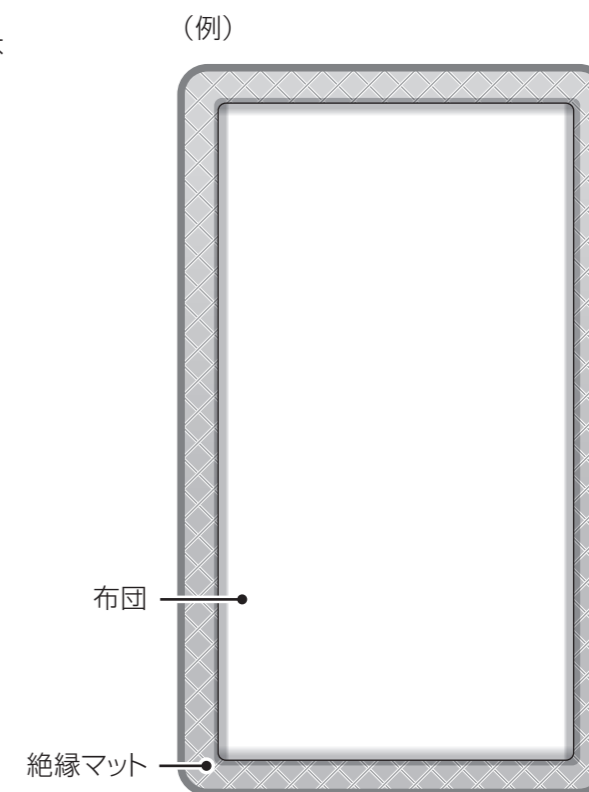
2 2Pコンセントの場合は、付属の接地アダプタを接続し、アース端子をアースターミナルに接続してください。

- ① 直射日光のあたらない強固で安定した平らな場所に本器を水平に置いてください。
- ② 本器後面の通気孔をふさがらないよう、5cm以上の空間をあけてください。
- ③ 電源コードのプラグを持って、家庭用交流100Vのコンセントにまっすぐ、しっかりと差し込んでください。



3. 絶縁マットを敷く

- 絶縁マットを治療ベッドや布団の上または下に敷いてください。
- 治療する部屋の室温を適温に調節してください。

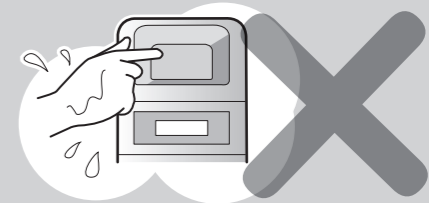


⚠ 注意



禁止

- 本体や付属品のそばに花瓶や水槽など、液体の入った容器を置かないでください。液体が内部に入ると火災や故障のおそれがあります。
- 振動の多い場所や傾斜、衝撃のある不安定な場所に置かないでください。
- 直射日光の当たる場所や暖房器具の近くなど温度が高くなる場所に置かないでください。
- ほこり、塩分、硫黄等による悪影響のある場所に置かないでください。
- 電磁波の発生するマイクロ波治療器からの直射照射や磁気の影響を受ける場所に置かないでください。
- 他の電気製品の近くに置かないでください。
- 機器の上に物を置かないでください。
- 感電や故障の恐れがありますので濡れた手で使用しないでください。
- 他の治療器および電気毛布や電気あんかなどの電気製品との同時使用はしないでください。
- 金属繊維などの導電性物質を含む布団とともに使用しないでください。
- 導子極板Gまたは対極板Gプラグの本体差込口のソケットに金属棒などを挿入しないでください。

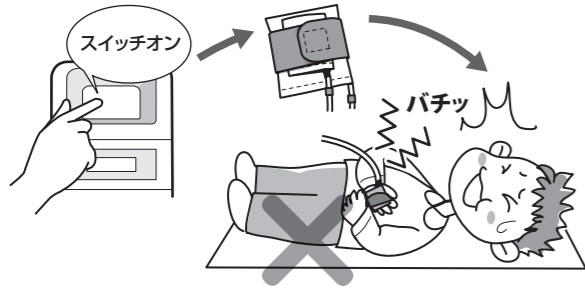


6. 導子極板G・対極板Gについての注意事項

次の点に注意して正しく使用してください。

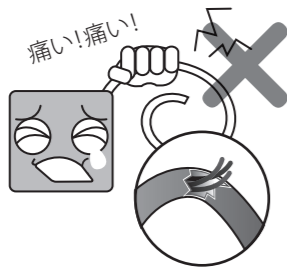
●必ず導子極板Gと対極板Gを装着してから治療を開始してください。

治療を開始してから極板を装着すると極板の破損及び不快な電氣的刺激(静電気のような刺激)を感じる場合があります。



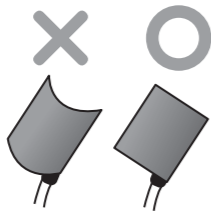
●断線の原因に…

導子極板Gまたは対極板Gのケーブルに無理な力が加わらないようにしてください。極端に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、小さく束ねたり、重いものを乗せたり挟み込んだりしないでください。ケーブルの寿命を縮め、火災、感電、事故などの原因となります。またプラグ部分に衝撃を与えると、プラグの損傷の原因となりますのでご注意ください。



●曲げ過ぎないでください。

導子極板Gと対極板Gを装着する際には、過度の締め付け等により曲げ過ぎないように固定してください。曲げ過ぎると極板の破損の原因になります。



●金属を接触させないでください。

治療中は身体及び極板に金属(ベット、椅子、貴金属等)を接触させないでください。

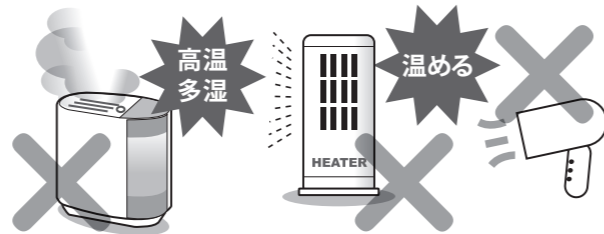
●塗り薬、汗に注意!

導子極板G、対極板Gの装着部位が汗で濡れているときや、塗り薬などが塗られているときは、必ず拭き取ってご使用ください。必要に応じて手袋を使用してください。



●高温多湿は極板を傷めます

導子極板Gまたは対極板Gが汗で濡れていたり、湿っている場合は十分に乾燥させてからご使用ください。ただしドライヤーを使用したり、ストーブにあてるなど高温での乾燥は導子極板G・対極板Gを傷めてしまいますので絶対にお止めください。



●ジメジメ注意!!

治療は導子極板G及び対極板Gの裏表を交互に使用してください。治療終了後はベルトを外し、導子極板Gと対極板Gを離れた状態で自然乾燥させてください。また付属品のカバーは汗等の成分が付着しますのでこまめに洗ってください。



導子極板Gまたは対極板Gに損傷などの不具合が生じている場合、すぐに使用を中止してください。ご自身で修理をしたりそのまま使用すると危険ですので、お買い求めの販売店もしくは弊社までご相談ください。

7. 治療方法

標準的な治療例

期間	初日	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目~	
1回の治療時間(例)	約5分	→			約10分	→			約15~30分
1日の治療回数(例)	1日1回~5回治療								

- ① 上記の表は標準的な治療の一例です。体調に合わせて期間、治療時間、治療回数を適宜、選択してください。
- ② 初めて使用されるときは、短時間(約5分)で使用し、治療回数を重ねながら少しずつ身体を慣らしてください。
- ③ 続けて使用せず、治療と治療の間は1時間以上あけてください。
- ④ 過剰使用は、一時的な身体のだるさを感じるおそれがあるため、年齢、健康状態、体調により治療時間を調節してください。
- ⑤ お子様や身体の弱い方など、年齢、体力、体重により、治療時間は20分以内にするなど、適宜、選択してください。
- ⑥ 医師の指示があるときは、医師の指示に従ってください。
- ⑦ 各極板の裏表を交互に使用してください。
- ⑧ 使用の途中で、他の部位または別の人に使用するときは、必ず、治療を停止してから行ってください。
- ⑨ 身体に異常を感じたときは、直ちに使用を中止し、医師の指示に従ってください。
- ⑩ 1ヵ月以上使用しなかったときは、使用当初と同じように、短時間(約5分)で使用し、治療回数を重ねながら、少しずつ身体を慣らしてください。

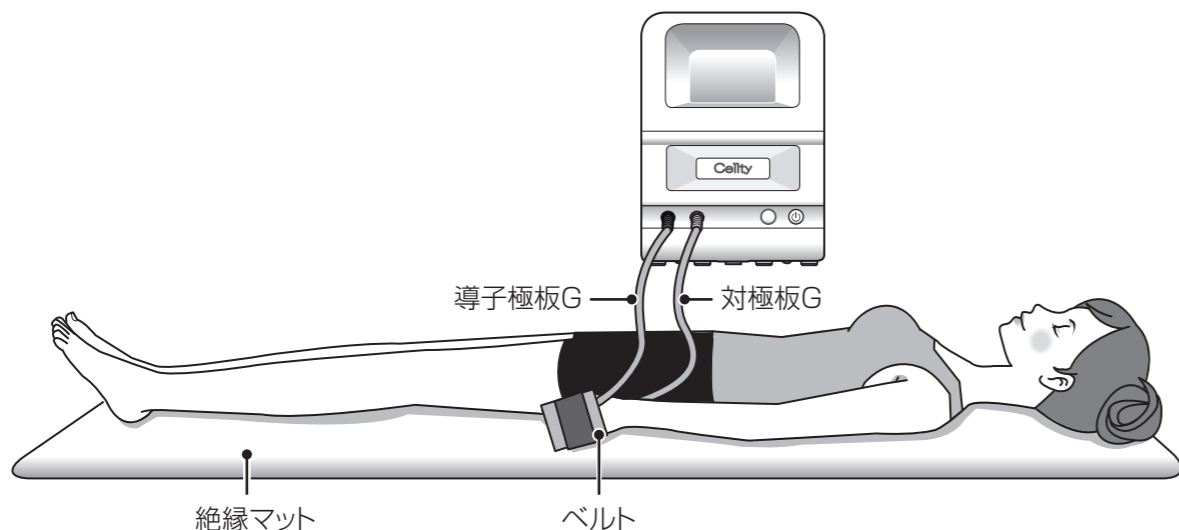
8. 極板のあて方例

※ 治療を開始する前に、必ず導子極板Gと対極板Gを付属のベルトで適切に装着してください。

1. 基本のあて方

頭痛 肩こり 不眠症 慢性便秘 全てに該当

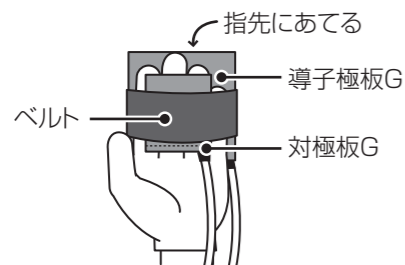
手背に導子極板G、手掌に対極板Gをあてた状態。



治療と治療の間は、1時間以上あけてください。

仰向けになって治療してください。

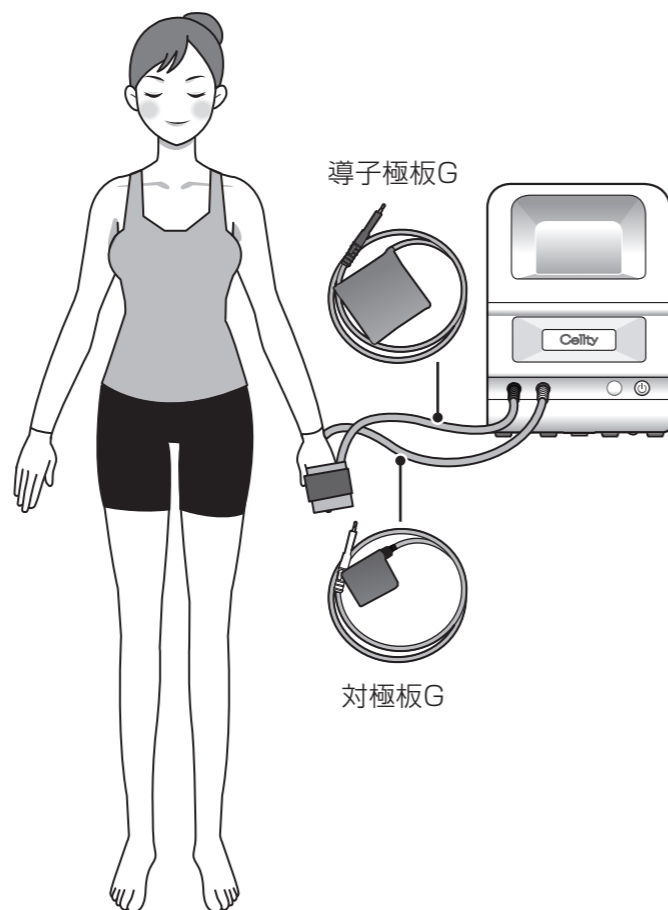
手の装着方法



- 導子極板Gと対極板Gがお互いに触れないようにあててください。
- 手袋は必要に応じて装着してください。

逆でもOK

手掌に導子極板G、手背に対極板Gでも可。

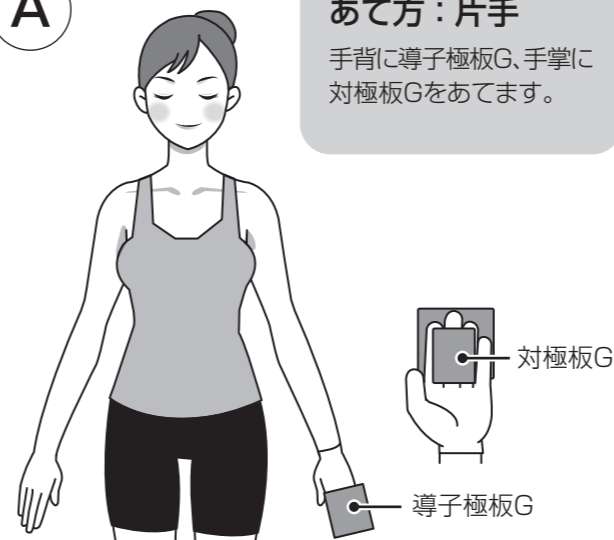


2. 効能・効果別のあて方例

A

あて方：片手

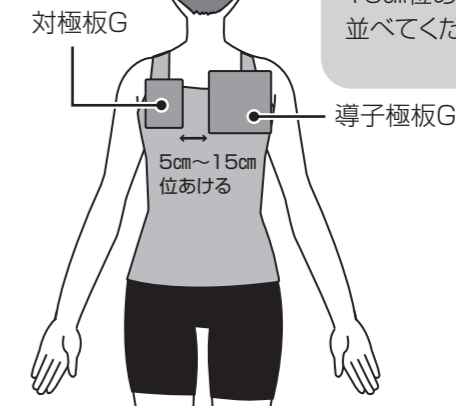
手背に導子極板G、手掌に対極板Gをあてます。



B

あて方：肩

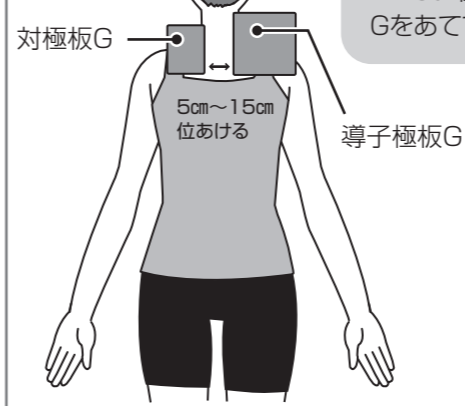
肩こりのある部位に導子極板Gをあて、その横に5cm～15cm位あけて対極板Gを並べてください。



C

あて方：首

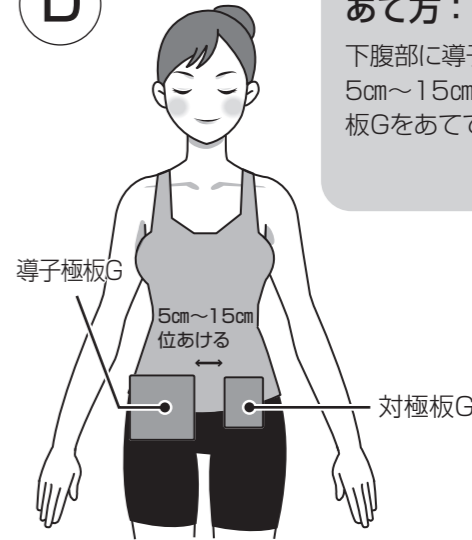
首の後ろ側の付け根に導子極板Gをあて、5cm～15cm位あけて対極板Gをあててください。



D

あて方：下腹部

下腹部に導子極板Gをあて、5cm～15cm位あけて対極板Gをあててください。



頭痛

A

または

C

肩こり

A

または

B

不眠症

A

または

C

慢性便秘

A

または

D

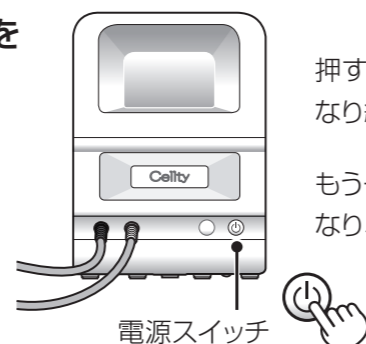
仰向けになって治療してください。

導子極板Gと対極板Gがお互いに触れ合わないようにあててください。

9. 操作方法

1. 電源を入れる

1 本体前面の右下部にある電源スイッチを押して「入」にしてください。



押すと電源が「入」になり緑色に点灯します。
もう一度押すと「切」になり、消灯します。

電源スイッチ

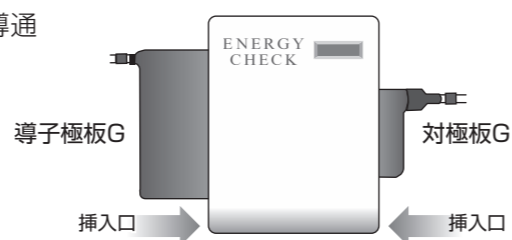
2 しばらくすると、液晶画面が「治療時間選択画面」になります。



(治療時間選択画面)

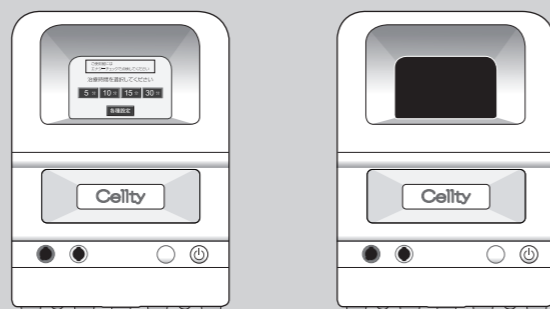
※ご使用前にはエネルギーチェックで点検してください

エネルギーチェックは、本体からの出力有無や極板ケーブルの導通有無を確認するものです。
極板の消耗・劣化状態を確認する為のものではありません。
(22、23ページ参照)



液晶画面の自動消灯について

「治療時間選択画面」で、1分間画面操作又は画面変更がなければ液晶画面が自動的に消灯します。
復帰する場合は、液晶画面に触れることにより画面表示されます。

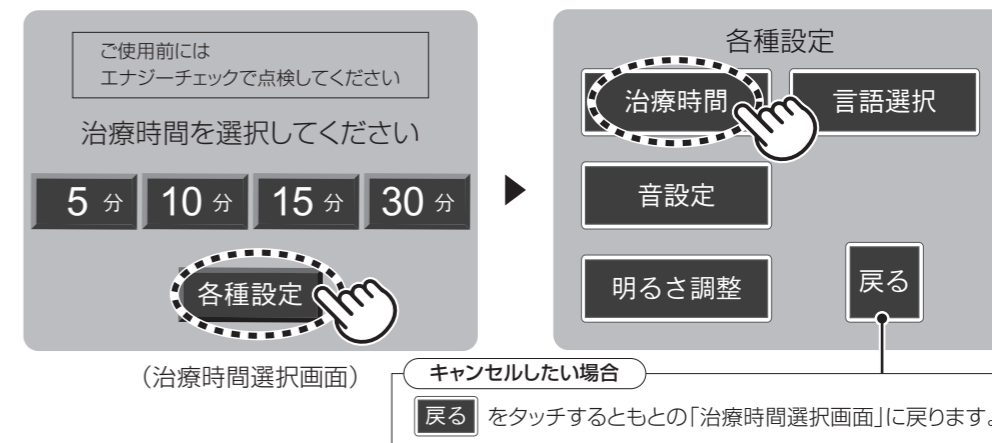


(点灯時)

(消灯時)

2. 治療時間設定をする 治療時間の出荷時の設定は5分、10分、15分、30分です。

1 各種設定 をタッチし、治療時間 をタッチします。



(治療時間選択画面)

キャンセルしたい場合

戻る をタッチすると元の「治療時間選択画面」に戻ります。

2 メモリ1 をタッチするとテンキーが表示されます。メモリ2~4も設定可能です。



テンキー

3 例)25分に設定する場合 2 → 5 → ENT をタッチし、決定 をタッチしてください。



「1」～「60」分まで設定可能です。
注)0分は設定できません。
(24ページ参照)

続けてメモリ2~4の設定をする場合は、各メモリを設定し、最後に 決定 をタッチしてください。

タッチ操作について

エスケープ
ESC 前の画面に戻ります。

バックスペース
BS 一つ数字が後退します。
カーソルの数字が消去されます。

クリア
CLR 入力を間違えた時にタッチすると入力中の数字が全て「0」になります。

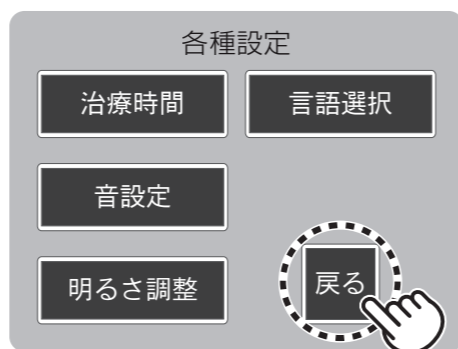
エンター
ENT 入力内容を確定するときに使います。

9. 操作方法

2. 治療時間設定をする(つづき)

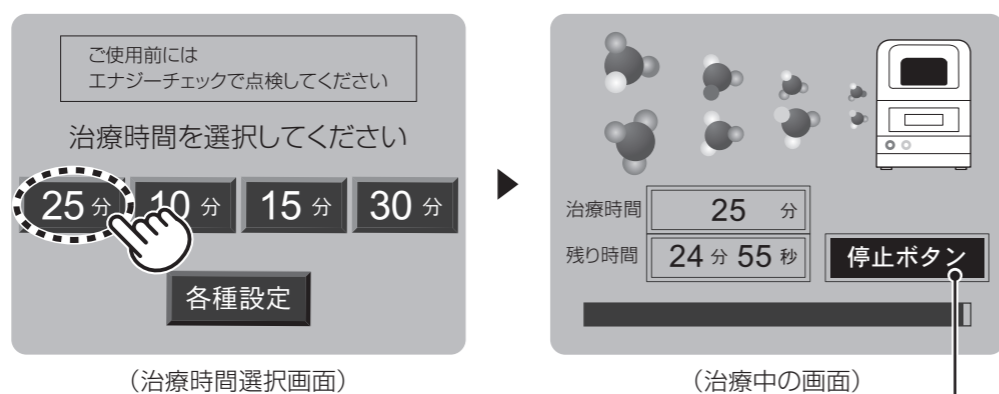
4 「各種設定画面」になります。

戻る をタッチします。



5 「治療時間選択画面」になります。

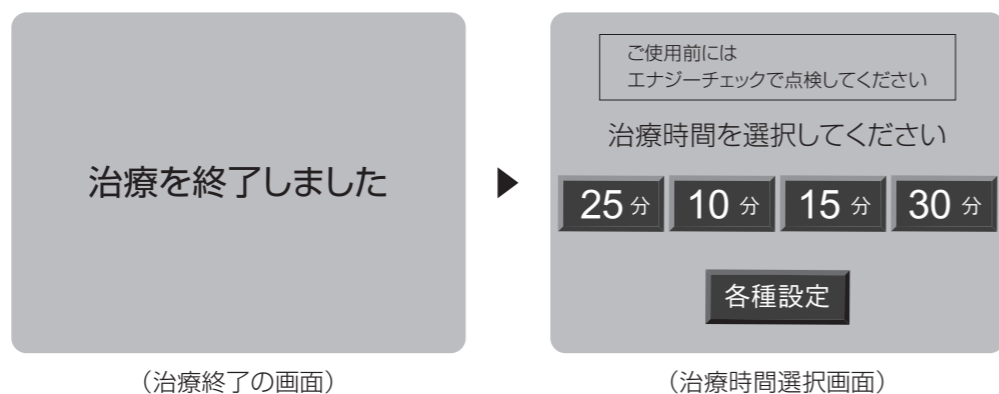
25分 をタッチすると治療が開始され治療中の画面になります。



治療を途中で停止したい場合、**停止ボタン** をタッチすると「治療停止の画面」になります。しばらくすると画面は「治療時間選択画面」に戻ります。

6 治療が終了しました。

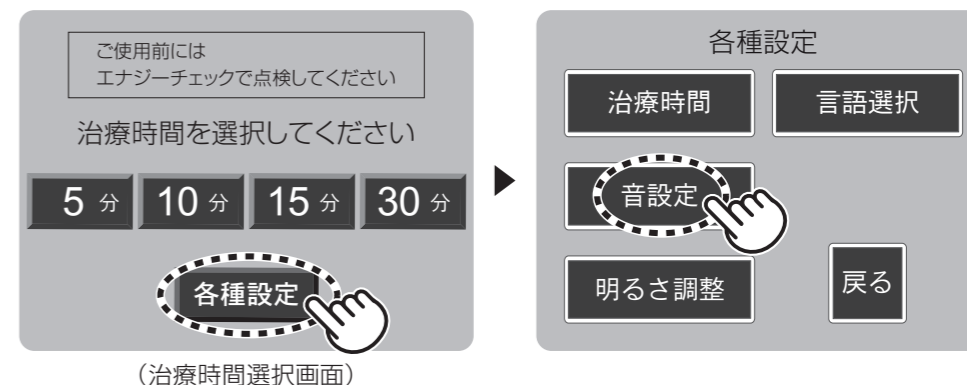
終了音が鳴り、治療終了になります。
「治療終了の画面」後、「治療時間選択画面」に戻ります。



3. 終了音、操作音を設定する

1 **各種設定** をタッチし、**音設定** をタッチしてください。

※ 出荷時の設定は、終了音及び操作音共に「鳴らす」に設定されています。

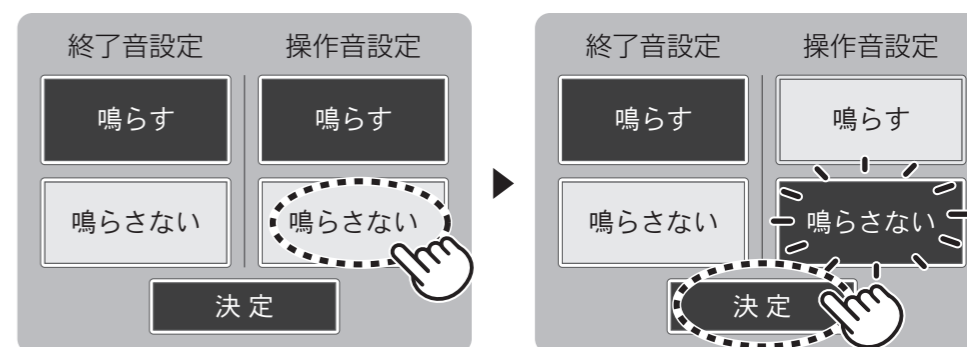


2 「終了音設定」、「操作音設定」画面になります。

終了音設定……治療終了後に鳴る音 **操作音設定**……操作ボタンを操作する時に鳴る音

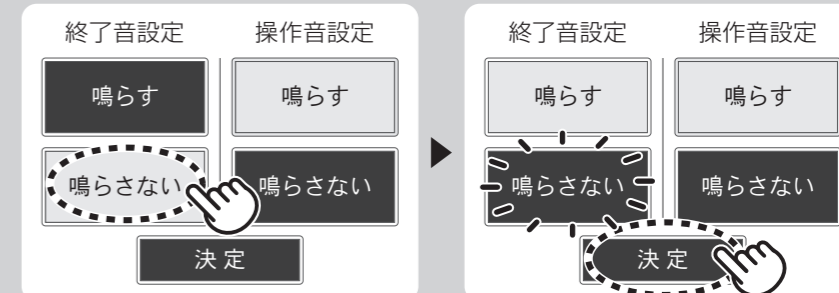
例) 操作音を「鳴らさない」設定にする

操作音設定の **鳴らさない** をタッチし、**決定** をタッチしてください。



終了音を「鳴らさない」設定にする場合

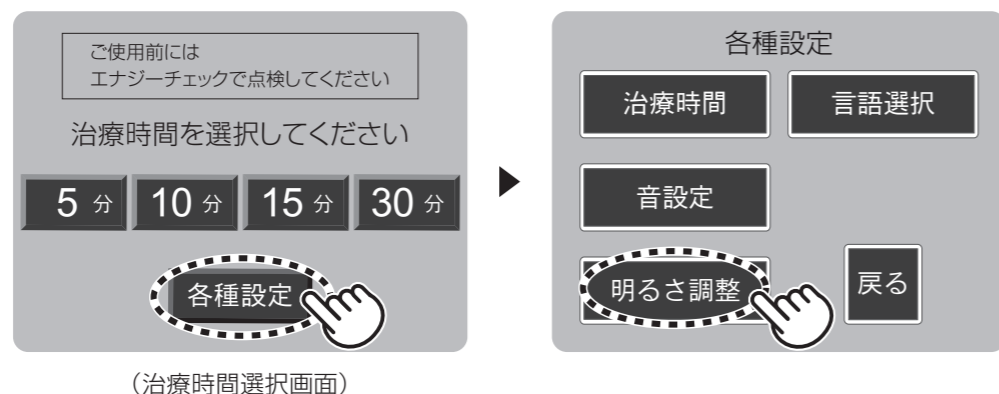
終了音設定の **鳴らさない** をタッチし、**決定** をタッチしてください。
終了音を鳴らさない設定にすると治療終了時に終了音は鳴りません。



9. 操作方法

4. 明るさ調整をする 液晶画面の明るさを調整します。

1 各種設定 をタッチし、明るさ調整 をタッチしてください。

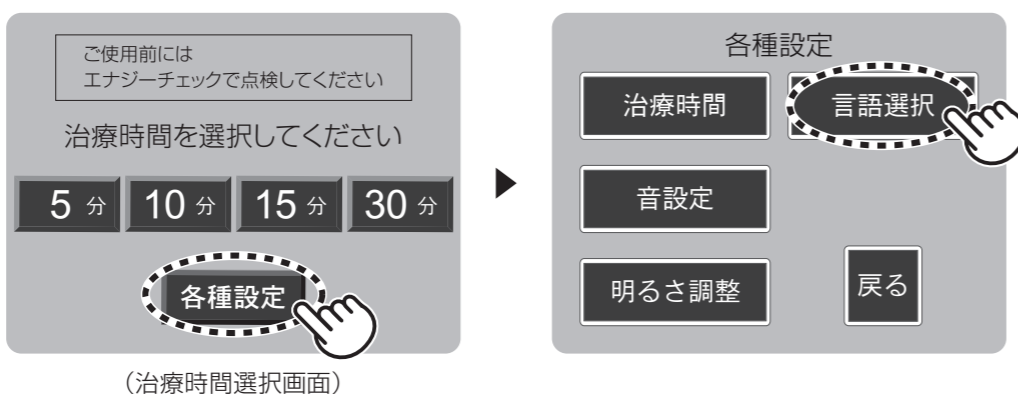


2 「明るさ調整」画面になります。
お好みの明るさに調整し、決定 をタッチしてください。



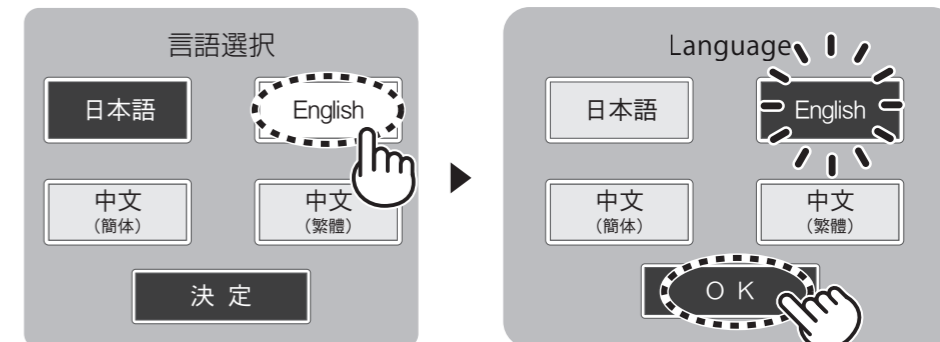
5. 言語選択

1 各種設定 をタッチし、言語選択 をタッチしてください。

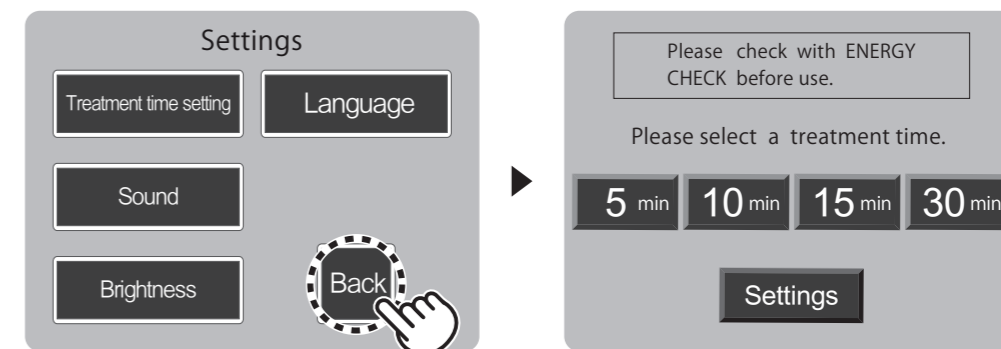


2 例) 日本語→Englishに変更する場合 ※出荷時は「日本語」に設定されています。

English をタッチし、OK をタッチしてください。



3 「Settings画面」になり Back をタッチすると英語表記の「治療選択画面」になります。



注意



禁止

- 液晶パネルの表示画面の操作は硬いものや尖ったもので行わないでください。
- 液晶パネルに必要以上の強い力を加えないでください。



10. 使用後の注意事項

使用後は、電源スイッチを「切」にしてください。



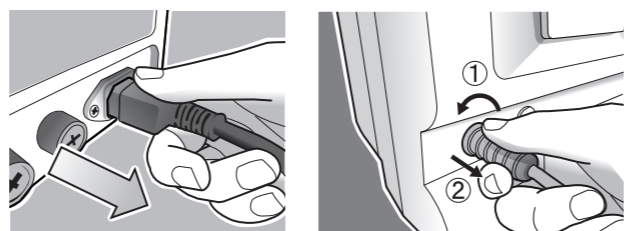
使用後、電源スイッチを切ってから入れるまでは10秒以上あけて行ってください。

- 電源スイッチを切ってから10秒未満に入れると、内部機器に負荷がかかり故障のおそれがあります。

付属品などは、次の使用に支障がないように清浄にし、湿気の少ない所に整理して置いてください。

- 治療終了後はベルトを外し、導子極板G、対極板Gを離れた状態で自然乾燥させてください。
- 付属のカバーは汗等の成分が付着しますのでこまめに洗ってください。

本体を移動するときは、本体から電源コード及び導子極板G・対極板Gを外してください。また、本体を誤って落とさないように両手でしっかり持ってください。



- ① 電源コードを抜く
- ② 各極板プラグを左に90°度回し、まっすぐ引き抜く

本体を誤って落としたときは、必ず販売店に連絡し、点検を受けてください。

- 外観上異常がなく、その直後に正常に作動したとしても、後で故障や事故につながるおそれがあります。

11. お手入れと保管

1. 治療器の清掃

- ① 感電のおそれがありますので、お手入れのときは、電源コードのプラグを持ってコンセントから抜いてください。
- ② コンセントと電源コードプラグ間や本体のほこりを取り除いてください。
- ③ お手入れするときは、ベンジンやシンナーなどを使用せず、柔らかい布等で乾拭きしてください。
- ④ 液晶パネルは、強く拭きますと画面が破損し、障害が発生しますので、木綿等の柔らかい布で拭いてください。
- ⑤ 濡れている極板や湿っている極板は、ドライヤーやストーブなど高温で乾燥せず、自然乾燥してください。
- ⑥ 付属のベルト、カバー、手袋は、こまめに洗濯してください。



2. 消耗品の交換(保証対象外) 消耗品は下記のとおりです。

導子極板G…1本、対極板G…1本、導子極板G用カバー…2枚、対極板G用カバー…2枚、
ベルト特小W(長さ30cm)…1本、ベルト中(長さ80cm)…1本、ベルト大(長さ120cm)…1本、
電源コード…1本、 接地アダプタ…1個、絶縁マット(90cm×190cm)…1枚、エネルギーチェック…1個、
手袋(5本指、ミトン)…各1組、スパイラルチューブ(極板に装着済み)…2本

※導子極板Gと対極板Gは1年毎の交換が必要です。

- 効能や効果を十分に維持する為に、1年毎に交換してください。



導子極板G(1本)



対極板G(1本)

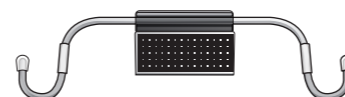
3. 保管方法

- 機器および付属品は、次の使用に支障がないように清浄にし、また、カバー等は洗濯をし、湿気の少ない場所に整理して保管してください。
- しばらく使用しなかった機器を使用するときは、導子極板Gと対極板Gを装着して電源スイッチ、液晶画面のキーが正常にかつ安全に作動することを確認してください。
- 長期間使用されず、再び使用するときは、お買い求めの販売店にご連絡の上、点検を受けてください。

4. 治療器の廃棄または譲渡等

- 治療器の廃棄または譲渡等を希望される場合は、安全上及び法律により、お買い求めの販売店にご連絡ください。

5. 別売品 ※ご注文は販売店までご連絡ください。



極板ケーブルハンガー

簡単に治療器本体に取り付けられ、治療後の各極板を収納できます。

自然乾燥に最適!

吊るす事によって各極板が乾燥しやすくなります。

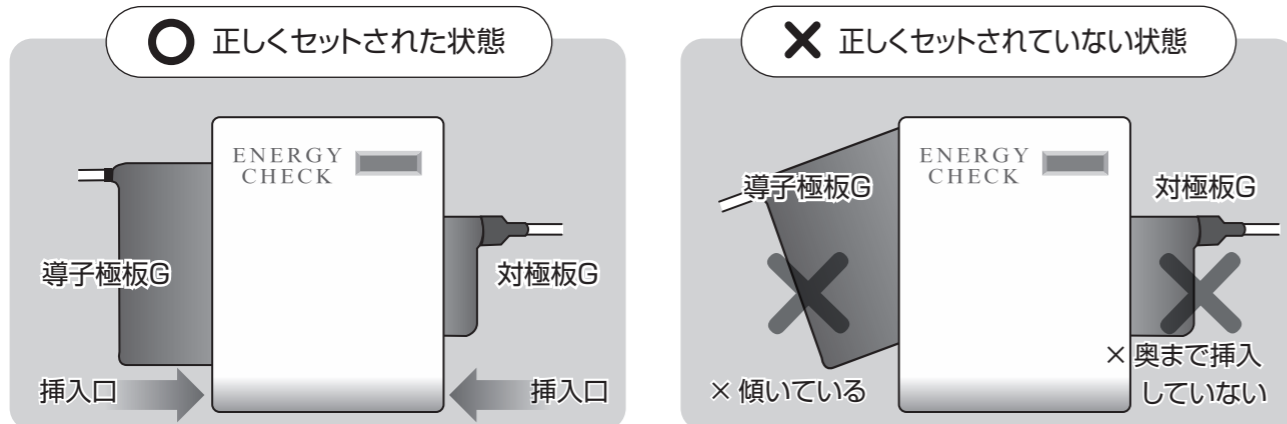
12. エナジーチェック(ENERGY CHECK)

1. 用途

エナジーチェックは、セルティーの使用前の点検に用いる検査機器です。
 (エナジーチェックは、本体からの出力有無や導子極板Gケーブル、対極板Gケーブルの導通有無を確認するものです。導子極板Gまたは対極板Gの消耗・劣化状態を確認する為のものではありません。極板から聞こえる音の大きさは、環境等により異なりますので出力の判断基準にはなりません。)

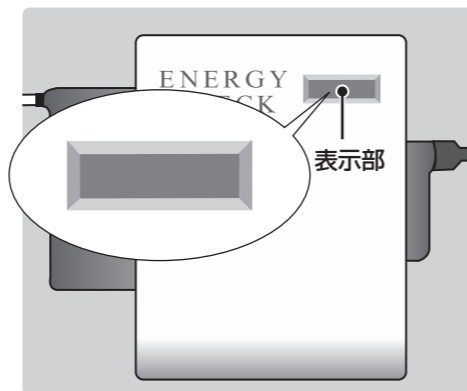
2. エナジーチェック(ENERGY CHECK)の使用法

1 エナジーチェックを水平な場所に置いて導子極板G・対極板Gを各挿入口に奥まで挿入します。必ず極板カバーを外して点検してください。



2 奥まで挿入した時、表示部が消えている事を確認します。

- 導子極板に電位が帯電している時、運転状態前に表示部が点灯することがあります。その場合、表示部が完全に消えてから点検してください。また何度も続けて点検した場合、電位差が飽和状態となりOKが表示しなくなります。しばらく時間をおいて点検してください。

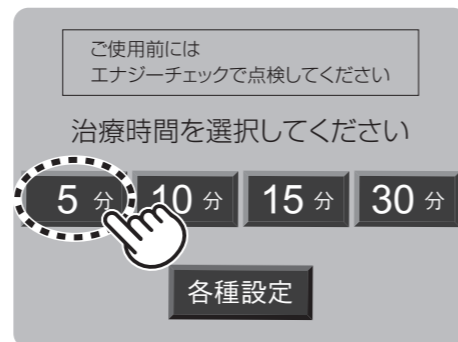


3 セルティーを運転状態にします。

- 点検中は導子極板Gまたは対極板Gに触れないようにしてください。いずれの治療時間を選択してもかまいません。

⚠ 注意

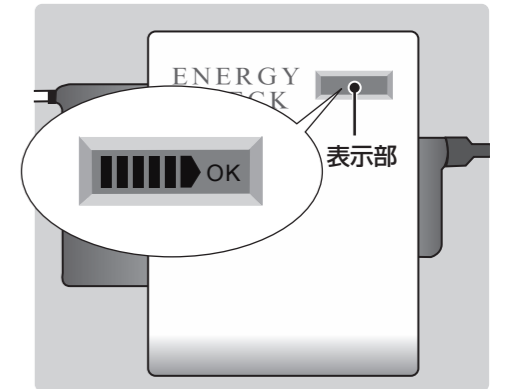
点検開始後、セルティーを30秒以上運転状態にしないでください。



(治療時間選択画面)

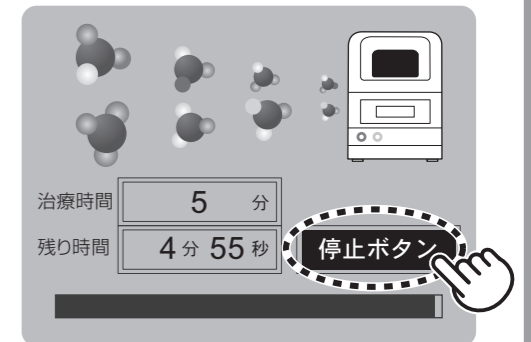
4 異常がなければ「OK」表示が点灯します。

- → 一瞬でも表示されれば正常です。
- × → 反応していない状態
お買い求めの販売店までご連絡をお願いします。
- × → かすれた状態
もう一度最初の手順に従ってください。



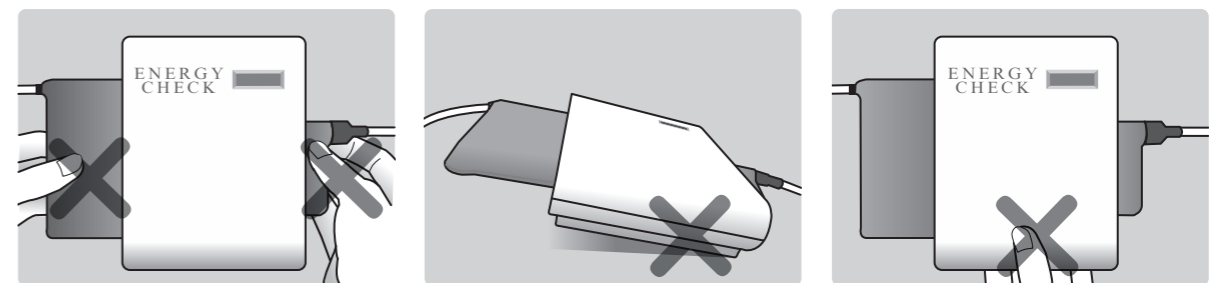
5 **停止ボタン** をタッチし、セルティーの運転を停止し導子極板G・対極板Gを挿入口より抜き取ります。

- エナジーチェックの表示部に「OK」表示が点灯されない場合は、セルティーのご使用を中断し、お買い求めの販売代理店までご連絡をお願いします。



(治療中の画面)

3. 次の点にご注意ください



⚠ 注意

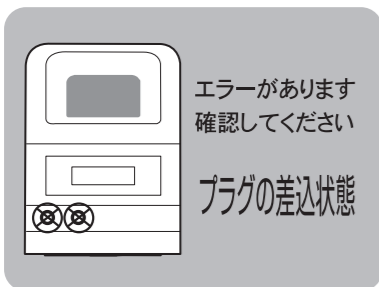
- 幼児の手の届かない所に保存してください。
- 風呂場など、水のかかる所に置かないでください。
- 高い所から落下させたり、強い衝撃を与えないでください。
- 改造又は、分解しないでください。
- 用途以外に使用しないでください。
- 直射日光、高温または多湿の所に置かないでください。

13. トラブル対処方法

1. 本体のトラブル表示

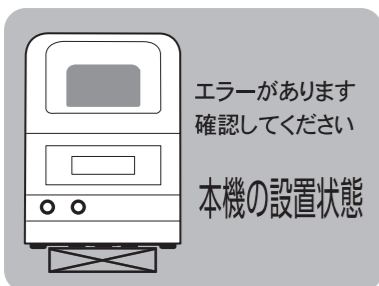
- 液晶パネルにエラーが表示された時は、下記のとおり対処してください。

● プラグが差し込まれていない時



プラグが確実に差し込まれていない時、画面上に「プラグの差込状態」と表示され、プラグが接続されていない箇所に⊗が表示されます。この印のあるところにプラグの色を合わせて差し込みます。エラーがなくなりますとエラー解除の画面が表示され、引き続き「治療中の画面」に戻ります。

● セルティーが正常に設置されていない時



セルティー本体が正常に設置されていない時、画面上に「本機の設置状態」と表示され、本体の底部に⊗が表示されます。本体を平らな場所に置きなおしてください。エラーがなくなりますとエラー解除の画面が表示され、引き続き「治療中の画面」に戻ります。

● 治療時間の設定時間が0分、または61分以上の時

0分、または61分以上は設定出来ません。1分以上、60分以内で設定しなおしてください。

OK

治療時間を0分で「ENT」をタッチした時に表示されます。OKをタッチして、1～60分に設定してください。

2. 故障かなと思ったとき 故障かな?と思ったら次のことをお調べください。

状況	チェック	対策
液晶画面になにも表示されない。	電源コードは正しく接続されていますか?	電源コードのコネクタを本体裏面差し込み口に差し込んでください。電源コードのプラグをコンセント(交流100V)に差し込んでください。
	本体前面の電源スイッチが「切」になっていませんか?	電源スイッチを「入」にしてください。
	本体前面の電源スイッチの「入・切」が正常に行えますか?	正常に行えない場合は本体の故障です。販売店に修理を依頼してください。
	治療時間選択画面で操作しないまま1分以上経過していませんか?	液晶画面を指で触れてください。状況が改善されなければ本体の故障です。販売店に修理を依頼してください。
液晶画面にエラー表示が出る。	導子極板G・対極板Gのプラグがソケットに正しく接続されていますか?	導子極板G・対極板Gのプラグをソケットに差し込んでください。
	本体が正常に設置されていますか?	本体を平らな場所に置いてください。
次の画面に切り替わらない。	画面がフリーズしている可能性があります。電源スイッチを「切」にし、再び「入」にして液晶画面の表示を確認してください。	状況が改善されなければ通信エラーが考えられます。販売店に修理を依頼してください。
治療終了後、終了音が鳴らない。	「各種設定」における終了音、操作音が「鳴らさない」になっていませんか。	「鳴らす」に変更してください。(17ページ参照) 状況が改善されなければ本体の故障です。販売店に修理を依頼してください。
操作音が鳴らない		
エネルギーチェックでの導子極板Gと対極板Gの点検時、「OK」が表示されない。	導子極板G・対極板Gを手で触れていませんか?	導子極板G・対極板Gをエネルギーチェックに挿入後、手を導子極板G・対極板Gから離して点検してください。
	表示時間が短いため、見逃していませんか?	もう一度、点検してください。一瞬でも表示されれば正常です。
	運転状態になっていませんか?	運転状態になっていない場合、液晶画面の治療時間をふれてください。
	水平な場所で導子極板G・対極板Gがエネルギーチェックの挿入口にきちんと入っていますか?	水平な場所で導子極板G・対極板Gを挿入口に適切に入れて、再度点検してください。
	何度も続けて点検していませんか?	しばらく時間を置いて再点検してください。

※対策実施後、状況が改善されなければ本体の故障です。販売店に修理を依頼してください。

3. その他の質問事項

状況	回答
導子極板Gからの音が小さい。	導子極板Gから聞こえる音については、極板内の隙間を通る放電音ですので、環境、導子極板Gの消耗等さまざまな要因によって大きさは違ってきます。尚、導子極板Gから聞こえる音の大きさは、環境等により異なりますので出力の判断基準にはなりません。
エネルギーチェックの表示時間が短い。	エネルギーチェックの表示は電位差により帯電させることで表示させておりますが、音と同様にさまざまな要因によって表示時間が異なる場合があります。またエネルギーチェックの表示部は、長時間帯電させると壊れることがあり、強制的に放電させるようにしておりますので、チェックしている間表示し続けるものではありません。従いまして、導子極板Gから聞こえる音の大きさ及びエネルギーチェックの表示時間の長さが判断基準ではなく、エネルギーチェックに反応しているかどうかの出力の有無の判断基準となります。

14. 仕様

一般的名称	家庭用電位治療器	
販売名	セルティー	
型式	ET-F01	
外形寸法	240(W)×330(H)×220(D)(mm)	
電源電圧	AC100V 50/60Hz	
定格消費電力	16W	
重量	約3.5kg (治療器本体)	
治療時間	任意設定(1分~60分)	
出力電圧	直流 -5500±1000V	
出力極数	1極	
安全装置	<ul style="list-style-type: none"> ● 極板プラグが抜けた時、運転の自動停止 ● 極板プラグが正常に挿入されていない時、運転の自動停止 ● 本体が正常に設置されていない時、運転の自動停止 	
電撃に対する保護の形式	クラスOI機器	
医療機器認証番号	217AGBZX00011000	
付属品	導子極板G……………1本 対極板G……………1本 導子極板G用カバー……………2枚 対極板G用カバー……………2枚 ベルト特小W(長さ30cm)……1本 ベルト中(長さ80cm)……………1本 ベルト大(長さ120cm)……………1本 電源コード……………1本 接地アダプタ……………1個	添付文書……………1部 取扱説明書……………1部 絶縁マット(90cm×190cm)……1枚 エナジーチェック……………1個 (ENERGY CHECK) 手袋(5本指、ミトン)……各1組 スパイラルチューブ……………2本 (極板に装着済み)



※下記の交換用極板セットは、2年目・3年目の交換時期にメーカーよりお客様へ直送いたします。

交換用極板セット内容

- 導子極板G……………1本
- 導子極板G用カバー……………2枚
- 対極板G……………1本
- 対極板G用カバー……………2枚

※スパイラルチューブは含まれません。

※掲載した製品の仕様や外観は改良等の理由により、予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

15. その他

保証書について

本製品には保証書が付いています。お受取りになった保証書は、記載内容及び「販売店名・購入日」などの記入事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。

必要事項が記載されていない場合は、お買い求めの販売店にお申し付けください。

保証期間は、保証書に記載されています。また、本保証書は日本国内においてのみ有効です。

アフターサービスについて

本体に異常を感じた時は

修理を依頼される前に、25頁の「故障かなと思ったとき」をご覧ください。

それでも異常がある時は、ご使用を中止し、必ず電源コードのプラグを抜いてから、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

保証期間中の修理、その他

- 保証書は、取扱説明書の注意書による正常なご使用で、保証期間中に故障した場合に、無料修理させていただくことをお約束するものです。
無償保証期間内に故障して修理を受ける場合は、商品に保証書を添えてお買い求めの販売店又はレルテック医療器(株)に依頼の上、持込または輸送してください。
輸送する場合は、納入時の梱包材をご使用いただいで梱包願います。
- 保証期間中でも、次の場合には有料になります。
 - 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障及び損傷
 - お買い求め後の落下、輸送などによる故障及び損傷
 - 火災、天災(地震、風水害、落雷など)、塩害、ガス害、異常電圧による故障及び損傷
 - 保証書のご提示がない場合
 - 保証書にお買い求め年月日、お客様名、販売店の記入のない場合、あるいは字句が書きかえられていた場合
 - 不適切な消耗品、規定外の交換部品の使用による本製品の故障及び損傷
 - 消耗品による消耗品等の交換(導子極板Gと対極板Gを含む。)
 - 修理見積りを提示後、お客様のご都合により修理をキャンセルする場合
 - 修理依頼箇所について弊社にて一連の検査の上、異常が確認が出来なかった場合
 - 1年毎の極板が交換されない場合、本体は保証対象外となります。
- 製品の耐用期間は7年です。

保証期間が過ぎた場合

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

お買い求めの販売店またはレルテック医療器(株)にご連絡ください。

保証外

- 火災、地震、風水害、落雷、その他天災地変、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害に関して、当社は一切責任を負いません。